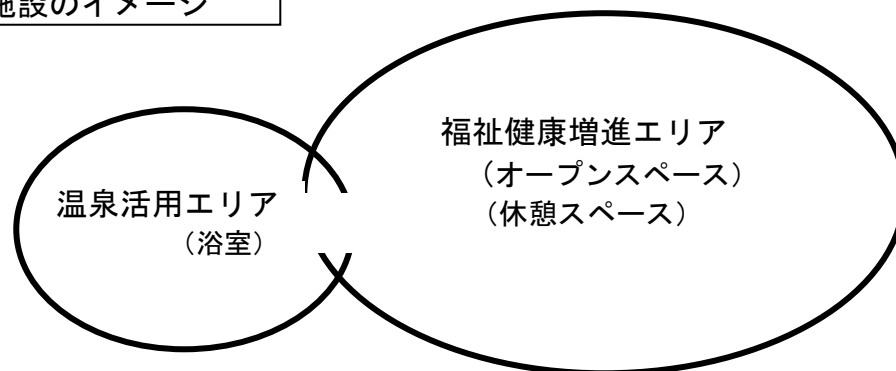


越後とちお温泉源泉活用福祉施設コンセプト

| | |
|-------|-----------------------|
| 設置者 | 長岡市（公設） |
| 施設目的 | 市民（地域住民）の福祉施設 |
| コンセプト | 子どもからお年寄りまで利用する温泉活用施設 |

施設のイメージ



| | |
|------------------|---|
| 施設整備に関する 要望事項 | ・ 子どもからお年寄りまで利用する施設 |
| | ・ 温泉活用エリアについては、清潔感を重視し、広い浴槽を備え、安らぎを基調とする。 |
| | ・ 利用者がふれあう憩いのスペースの確保 |
| | ・ 自己健康管理の意識付けを目的として自分の健康状態を確認できる器具を備える。 |
| | ・ 日勤勤労者等が利用可能な開館時間の設定を考慮する。 |
| | ・ 飲食物の自動販売機の設置や飲食物の持ち込みを考慮する。 |
| | ・ お年寄りや身体に障害のある方の利用に配慮して、バリアフリーを基調とした整備 |
| | ・ 建設位置については、最適地に立地することとして要望する。 |
| 施設の必要性 | <p>①現在の栃尾地域の高齢化率は、31.5%であり、国（21%）、長岡市平均（23.8%）に比べ、はるかに高齢化が進み、高齢者対策が急務である。今後の高齢者の社会貢献や高齢者医療費の軽減策などの観点から、元気なお年寄り政策が必要である。そこで、若いうちから自己健康管理意識の醸成する施設を整備し、市民の間に健康老人の意識政策を講ずることが大切である。</p> <p>②2004年10月の中越大震災で被災した住民は、復興のため心身共に疲れた状態である。精神的ストレスを解消するに温泉利用は、非常に有効である。</p> <p>①及び②により、2005年（平成17年）に湧出した温泉を活用した福祉施設を整備する必要がある。</p> |